

史料群番号 33

史料群名	はにゆうきよし 羽生潔家文書	旧所蔵者	羽生潔
探訪時住所	茨城県稲敷郡本新島村境島		
現在の住所	茨城県稲敷市境島		
探訪年月	昭和26（1951）年8月		
史料の年代	昭和12（1937）年～昭和23（1948）年	史料の総点数	163点
年代の内訳	近代 163点	筆写稿本	なし
既刊行目録	「平成十八年 水産総合研究センター所蔵古文書目録-福島県、茨城県、栃木県、千葉県関係史料- 水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」		

収蔵にいたる経緯

「漁業制度資料目録 第9集」に目録が掲載され、寄贈とされている。おそらく、本史料群は探訪から現在に至るまで、史料の散逸、移動は生じなかったと考えられる。

史料群の概要

探訪時の住所本新島（もとしんしま）村境島は、近世期は下総国香取郡境島村で、十六島新田のひとつに数えられた。明治22年に千葉県新島村に編入され、同32年に北岸部分を茨城県本新島村、南岸を新島村として残した。昭和30年に本新島村と2ヶ村が合併して東村が成立、平成8年東町となり、平成17年に稲敷市に含まれることになった。この地域は利根川下流域の穀倉地帯で、治水、利水、干拓などの努力が積重ねられてきた。

本史料群は土地関係も含まれるが、8割以上が漁業に関するもので本新島漁業組合関係の史料が多い。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

